

【基本教育科目/社会の理解】

科目名	ナンパリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等																																													
環境と資源	NLA11_016	選択	2	1	後期																																													
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー																																															
村上 雅博	教員控室	kango	課題シート内のコメント欄にて対応																																															
授業の目的・概要	<p>地球規模と地域の環境と資源・エネルギーおよび自然災害と生命・環境倫理について学び、Think Globally & Act Locally (地球規模で考えて地域で行動する)の視点から看護や公衆衛生とも接点を有する生命倫理の問題と課題について考えて、自身の意見や論点を主張することができるような能力を身につけていくことが目的である。</p> <p>講義では、エネルギーや食料等の生活に直結する基本的な資源の大部分を海外からの輸入に依存している環境先進国日本の問題と課題を含む主要テーマ【地球環境(温暖化、気候変動、自然災害、生物多様性)と資源・エネルギー(原子力発電、自然エネルギー、水資源、森林資源、衛生環境(上下水道・ゴミ)、感染症、保健(公衆)衛生、環境・生命倫理、科学技術と安全等)について解説する。</p> <p>コロナ(COVID-19)禍で直面した公衆衛生と生命倫理にも接点をもつ授業なので、人の命と健康に直接に係わる看護師や保健師の職業倫理に係わる基本的な人権や公平・公正や正義及び功利主義と義務論との関係性にも着目する。地球と生命(ウイルス・細胞)の起源から人類の進化に至る46億年の地球の変遷についても解説しているため、地球環境と資源・エネルギーに加えてウイルス感染症に係わる新しい生命環境科学の最先端の問題についてもチャレンジして考えていく力を高めていく。最後に、医療・看護と環境の世界で職業上のトラブルを予防し対処するための失敗学”の基本を身近な実例を含めて学ぶ。人間は失敗をするが、そこから学ぶことが出来る。</p>																																																	
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他()																																																	
学習上の助言	<p>オリジナルな講義テキストのPPT-PDFファイル3点が事前にTeamsにて配信される。</p> <p>⇒①講義テキスト:PPT、③知識問題課題演習(穴あけ形式問題10問):WORD、④知識問(10題)解答+(コメント、質問)シート(WORD)に加え④キーワード演習シート(プリント)が当日に配布される。</p> <p>←質問やコメント等のオープンな議論を歓迎するが、討論等に慣れない方々は、上記④WORDシートの最下段の自由覧をツイート形式で活用することが出来る(成績評価対象の一部に組み込まれる)。</p>																																																	
教科書	指定しない。オリジナルな参考資料プリント(PDF)と講義用のPPT-PDFファイルを事前にTeamsで配信。																																																	
参考書	教科書・参考書に相当する配布テキストは全て無料でInternet-Webに公開されています。出展のURL: http:// を明記した小テスト(穴あけ問題)形式の参考資料③(PDF)をTeamsで配信。																																																	
外部教材	特になし																																																	
<p style="text-align: center;">学生が達成すべき行動目標</p> <table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>地球環境と生命・環境倫理と看護師・保健師の職業倫理にも係わる、広範な知識を修得し、目的や役割と意義に加えて問題の所在を見出して解決につながる課題について考える力を身につけ、論理的に自身の論点を説明することができる。</td> <td>HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>人間の生命と安全の保障に係わる、環境と資源・エネルギーと及び自然災害の問題と課題を含む意味深な境界領域のテーマについてもチャレンジし、責任のある職業人(プロフェッショナル)としての意識と見識を高めていくことができる。</td> <td>HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>コロナ禍に加えてロシアのウクライナ侵襲が激化し、混乱と戦間長期化が続き世界のエネルギー資源や食糧の安全保障問題にも注視する。ウイルスの起源や生物進化とロシア・ウクライナ紛争に起因する世界的な資源・エネルギー+核+食糧の危機(=安全保障)に関する最先端の世界の最重要課題にもチャレンジ出来る。</td> <td>HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)</td> </tr> </table>						①	地球環境と生命・環境倫理と看護師・保健師の職業倫理にも係わる、広範な知識を修得し、目的や役割と意義に加えて問題の所在を見出して解決につながる課題について考える力を身につけ、論理的に自身の論点を説明することができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)	②	人間の生命と安全の保障に係わる、環境と資源・エネルギーと及び自然災害の問題と課題を含む意味深な境界領域のテーマについてもチャレンジし、責任のある職業人(プロフェッショナル)としての意識と見識を高めていくことができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)	③	コロナ禍に加えてロシアのウクライナ侵襲が激化し、混乱と戦間長期化が続き世界のエネルギー資源や食糧の安全保障問題にも注視する。ウイルスの起源や生物進化とロシア・ウクライナ紛争に起因する世界的な資源・エネルギー+核+食糧の危機(=安全保障)に関する最先端の世界の最重要課題にもチャレンジ出来る。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)																																				
①	地球環境と生命・環境倫理と看護師・保健師の職業倫理にも係わる、広範な知識を修得し、目的や役割と意義に加えて問題の所在を見出して解決につながる課題について考える力を身につけ、論理的に自身の論点を説明することができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)																																																
②	人間の生命と安全の保障に係わる、環境と資源・エネルギーと及び自然災害の問題と課題を含む意味深な境界領域のテーマについてもチャレンジし、責任のある職業人(プロフェッショナル)としての意識と見識を高めていくことができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)																																																
③	コロナ禍に加えてロシアのウクライナ侵襲が激化し、混乱と戦間長期化が続き世界のエネルギー資源や食糧の安全保障問題にも注視する。ウイルスの起源や生物進化とロシア・ウクライナ紛争に起因する世界的な資源・エネルギー+核+食糧の危機(=安全保障)に関する最先端の世界の最重要課題にもチャレンジ出来る。	HSU(1)(2)(3)(4)(5)(6) NS(1)(2)(4)(5)																																																
<p style="text-align: center;">授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>学習内容等</th> <th>授業方法</th> <th>学習課題・学習時間(時間)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プロローグ: 環境: Umwelt とは何か? 21世紀は“環境と生命”の世紀⇒新しい地球環境問題の課題とは?: ①With/After コロナ社会との共存と②資源・エネルギー(核)の安全保障</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>[A-1] 地球環境: 地球環境科学⇒気圏/水圏/地圏と海洋(深層海流)が支配する地球の大気・水循環システム</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>[A-2] 地球環境: 地球温暖化のメカニズムと気候変動⇒大気・水循環システムの変貌と地球温暖化で激化する自然災害の脅威</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>[A-3] 地球環境: 生物多様性保全⇒生物は、何のために、どの様に生きるのか?“働き蜂”・“カッコウオナガ鳥”・“ミジンコ”と“ウイルス”の生き残り戦略</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>[B-1] 地球(生命)科学: [冥時代〜太古代(46-25億年前)]▶地球惑星の誕生と生命(原核・単細胞生物とウイルス)の起源と進化</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>[B-2] 地球(生命)科学: 原生代(25-6億年前)▶地球環境(気圏・水圏・地圏)の形成とシアノ・バクテリア(=酸素発生型光合成)から真核・多細胞生物への進化</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>[B-3] 地球(生命)科学: 古生代・中生代(5.4億-6,600万年前)▶生物の発達史(大型動植物、恐竜など)の進化と絶滅</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>[B-4] 地球(生命)科学: 新生代(6,600万年前〜)+第四紀・氷河期(258万年前〜)▶哺乳類と人類(ヒト属)の起源と進化⇒ホモサピエンス(40-25万年前〜)</td> <td>講義</td> <td>シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		1	プロローグ: 環境: Umwelt とは何か? 21世紀は“環境と生命”の世紀⇒新しい地球環境問題の課題とは?: ①With/After コロナ社会との共存と②資源・エネルギー(核)の安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	2	[A-1] 地球環境: 地球環境科学⇒気圏/水圏/地圏と海洋(深層海流)が支配する地球の大気・水循環システム	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	3	[A-2] 地球環境: 地球温暖化のメカニズムと気候変動⇒大気・水循環システムの変貌と地球温暖化で激化する自然災害の脅威	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	4	[A-3] 地球環境: 生物多様性保全⇒生物は、何のために、どの様に生きるのか?“働き蜂”・“カッコウオナガ鳥”・“ミジンコ”と“ウイルス”の生き残り戦略	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	5	[B-1] 地球(生命)科学: [冥時代〜太古代(46-25億年前)]▶地球惑星の誕生と生命(原核・単細胞生物とウイルス)の起源と進化	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	6	[B-2] 地球(生命)科学: 原生代(25-6億年前)▶地球環境(気圏・水圏・地圏)の形成とシアノ・バクテリア(=酸素発生型光合成)から真核・多細胞生物への進化	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	7	[B-3] 地球(生命)科学: 古生代・中生代(5.4億-6,600万年前)▶生物の発達史(大型動植物、恐竜など)の進化と絶滅	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4	8	[B-4] 地球(生命)科学: 新生代(6,600万年前〜)+第四紀・氷河期(258万年前〜)▶哺乳類と人類(ヒト属)の起源と進化⇒ホモサピエンス(40-25万年前〜)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)																																															
1	プロローグ: 環境: Umwelt とは何か? 21世紀は“環境と生命”の世紀⇒新しい地球環境問題の課題とは?: ①With/After コロナ社会との共存と②資源・エネルギー(核)の安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														
2	[A-1] 地球環境: 地球環境科学⇒気圏/水圏/地圏と海洋(深層海流)が支配する地球の大気・水循環システム	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														
3	[A-2] 地球環境: 地球温暖化のメカニズムと気候変動⇒大気・水循環システムの変貌と地球温暖化で激化する自然災害の脅威	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														
4	[A-3] 地球環境: 生物多様性保全⇒生物は、何のために、どの様に生きるのか?“働き蜂”・“カッコウオナガ鳥”・“ミジンコ”と“ウイルス”の生き残り戦略	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														
5	[B-1] 地球(生命)科学: [冥時代〜太古代(46-25億年前)]▶地球惑星の誕生と生命(原核・単細胞生物とウイルス)の起源と進化	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														
6	[B-2] 地球(生命)科学: 原生代(25-6億年前)▶地球環境(気圏・水圏・地圏)の形成とシアノ・バクテリア(=酸素発生型光合成)から真核・多細胞生物への進化	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														
7	[B-3] 地球(生命)科学: 古生代・中生代(5.4億-6,600万年前)▶生物の発達史(大型動植物、恐竜など)の進化と絶滅	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														
8	[B-4] 地球(生命)科学: 新生代(6,600万年前〜)+第四紀・氷河期(258万年前〜)▶哺乳類と人類(ヒト属)の起源と進化⇒ホモサピエンス(40-25万年前〜)	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																														

【基本教育科目/社会の理解】

9	[C-1] 地球(環境)資源: 「水資源」⇔地球の水循環(水収支)とパナチアルウォーター&日本の食料安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																								
10	[C-2] 地球(環境)資源: 「森林資源」⇔森林の役割とCO2削減および京都議定書/COP-21+パリ合意とコモンズ(共有地の悲劇)の意義	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																								
11	[C-3] 地球(環境)資源: 「エネルギー資源」⇔化石燃料、自然(再生)可能エネルギー、核エネルギー→ロシアのウクライナ侵襲と資源・エネルギーの安全保障問題	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																								
12	[D-1] 地域の環境と災害: 世界遺産・富士山: 桂川水系の豊かな自然環境と自然災害(気候変動・水害・地震・火山噴火)の脅威と恩賜林・コモンズ	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																								
13	[D-2] 地域の環境と災害: 東日本大震災(福島原発事故)における環境政策の究極の選択⇒ロシア・ウクライナ紛争問題における資源エネルギーと核の安全保障	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																								
14	[E-1] エビローク: 歴史と経験から学ぶ事: 失敗学とパレートの法則およびPDCAサイクル⇒失敗を繰り返して後がない地球環境問題⇒人類は生き残れるのか? 絶滅か?	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																								
15	[E-2] エビローク: 医療・看護分野の環境倫理と職業倫理・「究極の選択」⇒人権問題で失敗しない看護師とは(富士吉田市立病院訴訟)⇒With/After コロナ社会の医療看護倫理	講義	シラバスと配布資料ファイルをもとに予習・復習し確認する。	4																																								
試	定期試験: 小論文<800文字>: 40分間 + 知識問<50題>: 40分間																																											
<p style="text-align: center;">達成度評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総合評価割合(%)</th> <th>試験</th> <th>レポート</th> <th>成果発表</th> <th>ポートフォリオ</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>						総合評価割合(%)	試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	60	30	5	4	1	100																										
総合評価割合(%)	試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		合計																																					
	60	30	5	4	1	100																																						
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30																																					
	思考・推論・創造する力	20	10	1	0	0	31																																					
	協調性・リーダーシップ	0	0	1	1	0	2																																					
	発表・表現伝達する力	10	0	1	0	0	11																																					
	コミュニケーション力	0	0	1	1	0	2																																					
	取組みの姿勢・意欲	0	0	1	1	1	3																																					
問題を見出し・解決する力						10	10	0	1	0	21																																	
<p style="text-align: center;">評価のポイント</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価方法</th> <th>行動目標</th> <th>評価の実施方法と注意点</th> <th>フィードバックの方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">試験</td> <td>①</td> <td rowspan="4">キーワードの穴埋め問題形式で小テスト(50問)を実施<課題演習シート+PPTファイルから出題>し、基本的な知識修得の達成レベルを最終的にチェック(評価)する。⇒配点比率は30% 論文試験(800文字)では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力などの程度ついてきていくかを評価する。演習・課題シート[1-15]の質問・コメントを考慮して出題⇒配点比率は30%</td> <td rowspan="4">知識問題テストは絶対評価で採点し、論文テストは相対評価を加えて評価し、総合的な成績表=相対順位ソート表を追記して事務宛てに通知する。</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">レポート</td> <td>①</td> <td rowspan="4">授業終了時にキーワード演習シート②WORD配布プリントに自身が重要と考える順でキーワードを3つ選びシートに記載し提出する。Teams(資料: ファイル③+④)にアップロードされている「知識問題集: ③WORD」と「知識問題解答+コメント・質問シート: ④WORD」に取り組み、講義当日の24:00までWORDファイルをTeamsにUploadする。⇒課題演習の配点比率は30%</td> <td rowspan="4">Teams/Wordの演習シートを毎回プリントアウトして採点し講評を加えたコピーを各位に返却。適時にコメント欄等に講評を加える。</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成果発表</td> <td>①</td> <td rowspan="4">ディベート形式の討議のための時間を講義の終盤にとりますが、挙手をして話す・議論することが苦手な方と発言時間が足りなかった方は当日24:00までに提出する④課題演習シート(WORD)の最下段にある質問・コメント等自由覧を活用できる。(上位1~2割はS評価として成績評価対象)。⇒配点比率は5%</td> <td rowspan="4">適時にコメント欄等に講評を加える。</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ポートフォリオ</td> <td>①</td> <td rowspan="4">授業の展開段階における成長過程をディベートやTeamsの質問・コメントや課題演習の内容から評価。←授業への参加姿勢や質疑応答および課題演習レポート(WORD)への取り組み内容(キーワード所感とメモ覧を活用した質問やコメント等)のレベルを含めて総合的にチェック・評価する。⇒配点比率は4%</td> <td rowspan="4">適時にコメント欄等に講評を加える。</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">その他</td> <td>①</td> <td rowspan="4">不確実性が残るコロナウイルス対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断する。⇒配点比率は1%</td> <td rowspan="4">社会的な必然性があれば適時にコメント欄等に状況説明を加えるか最後に講評する。</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table>						評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	試験	①	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト(50問)を実施<課題演習シート+PPTファイルから出題>し、基本的な知識修得の達成レベルを最終的にチェック(評価)する。⇒配点比率は30% 論文試験(800文字)では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力などの程度ついてきていくかを評価する。演習・課題シート[1-15]の質問・コメントを考慮して出題⇒配点比率は30%	知識問題テストは絶対評価で採点し、論文テストは相対評価を加えて評価し、総合的な成績表=相対順位ソート表を追記して事務宛てに通知する。	②	③		レポート	①	授業終了時にキーワード演習シート②WORD配布プリントに自身が重要と考える順でキーワードを3つ選びシートに記載し提出する。Teams(資料: ファイル③+④)にアップロードされている「知識問題集: ③WORD」と「知識問題解答+コメント・質問シート: ④WORD」に取り組み、講義当日の24:00までWORDファイルをTeamsにUploadする。⇒課題演習の配点比率は30%	Teams/Wordの演習シートを毎回プリントアウトして採点し講評を加えたコピーを各位に返却。適時にコメント欄等に講評を加える。	②	③		成果発表	①	ディベート形式の討議のための時間を講義の終盤にとりますが、挙手をして話す・議論することが苦手な方と発言時間が足りなかった方は当日24:00までに提出する④課題演習シート(WORD)の最下段にある質問・コメント等自由覧を活用できる。(上位1~2割はS評価として成績評価対象)。⇒配点比率は5%	適時にコメント欄等に講評を加える。	②	③		ポートフォリオ	①	授業の展開段階における成長過程をディベートやTeamsの質問・コメントや課題演習の内容から評価。←授業への参加姿勢や質疑応答および課題演習レポート(WORD)への取り組み内容(キーワード所感とメモ覧を活用した質問やコメント等)のレベルを含めて総合的にチェック・評価する。⇒配点比率は4%	適時にコメント欄等に講評を加える。	②	③		その他	①	不確実性が残るコロナウイルス対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断する。⇒配点比率は1%	社会的な必然性があれば適時にコメント欄等に状況説明を加えるか最後に講評する。	②	③	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法																																									
試験	①	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト(50問)を実施<課題演習シート+PPTファイルから出題>し、基本的な知識修得の達成レベルを最終的にチェック(評価)する。⇒配点比率は30% 論文試験(800文字)では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力などの程度ついてきていくかを評価する。演習・課題シート[1-15]の質問・コメントを考慮して出題⇒配点比率は30%	知識問題テストは絶対評価で採点し、論文テストは相対評価を加えて評価し、総合的な成績表=相対順位ソート表を追記して事務宛てに通知する。																																									
	②																																											
	③																																											
レポート	①	授業終了時にキーワード演習シート②WORD配布プリントに自身が重要と考える順でキーワードを3つ選びシートに記載し提出する。Teams(資料: ファイル③+④)にアップロードされている「知識問題集: ③WORD」と「知識問題解答+コメント・質問シート: ④WORD」に取り組み、講義当日の24:00までWORDファイルをTeamsにUploadする。⇒課題演習の配点比率は30%	Teams/Wordの演習シートを毎回プリントアウトして採点し講評を加えたコピーを各位に返却。適時にコメント欄等に講評を加える。																																									
	②																																											
	③																																											
成果発表	①	ディベート形式の討議のための時間を講義の終盤にとりますが、挙手をして話す・議論することが苦手な方と発言時間が足りなかった方は当日24:00までに提出する④課題演習シート(WORD)の最下段にある質問・コメント等自由覧を活用できる。(上位1~2割はS評価として成績評価対象)。⇒配点比率は5%	適時にコメント欄等に講評を加える。																																									
	②																																											
	③																																											
ポートフォリオ	①	授業の展開段階における成長過程をディベートやTeamsの質問・コメントや課題演習の内容から評価。←授業への参加姿勢や質疑応答および課題演習レポート(WORD)への取り組み内容(キーワード所感とメモ覧を活用した質問やコメント等)のレベルを含めて総合的にチェック・評価する。⇒配点比率は4%	適時にコメント欄等に講評を加える。																																									
	②																																											
	③																																											
その他	①	不確実性が残るコロナウイルス対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断する。⇒配点比率は1%	社会的な必然性があれば適時にコメント欄等に状況説明を加えるか最後に講評する。																																									
	②																																											
	③																																											

【基本教育科目/社会の理解】

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教 員 の 実 務 経 験	日本工営（株）国際事業部・コーエイ総合研究所（1976～1997） 高知工科大学（高知県立大学）・環境理工学部・教授（1997～2015）
実 践 的 授 業 の 内 容	地球環境論および環境保全と持続的開発計画 水文・水資源学および環境（公衆衛生）工学 環境・生命倫理
そ の 他	<p>★2024年度授業の特色</p> <p>2019年12月に中国（武漢）で始まったコロナ（COVID-19）問題が完全には終結していない中で、2022年2月にロシア・ウクライナ紛争が勃発し、戦況は長期化・不安定化して第三次世界大戦・核戦争に発展する危惧があるなかで、今年度は、①ウイルスの起源と進化および With-After コロナ禍問題、②ロシア・ウクライナ紛争に起因する今日の深刻な資源・エネルギーや食糧の危機（⇔安全保障）問題、の最新の世界的な身近な課題を含む内容となっています。今後の国際社会の状況変化などによって再度シラバス変更の可能性があります。</p>